

基本認識・基本理念を基にした施策の体系を総合的に展開していくには、常に各施策の充実に意を注いでいくことはもちろん、さらにそれらと密接な関係にある、以下のような諸条件の整備についてもより一層の努力を図っていきます。

(1) 個別施策相互の有機的な連携

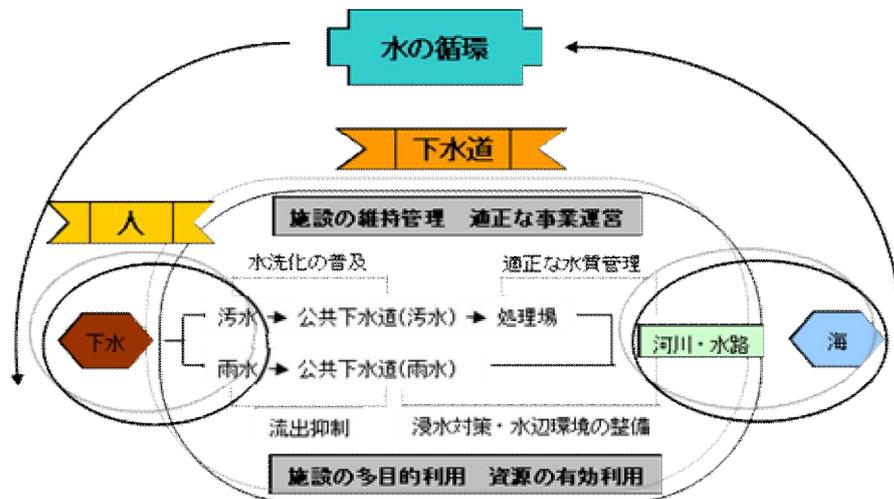
✚ 下水道は地球規模での水の大きな循環の中で、人の生活等から排出される汚水を「水」によって運び、終末処理場で浄化して自然に返す働きを、もう一つは、雨となって地上に注がれた「水」を、人の社会活動を妨げないように、また人の生活にうるおいをもたらすように川や海に導いていく働きを受け持っています。

✚ 本マスタープランの基本方針に基づく20の個別施策は、このような大きな循環の中で、それぞれが役割を担って下水道事業を推進していくものです。

全ての個別施策が「水」という存在によって相互に密接なつながりを持っています。

以上のような認識を基に、常に他の施策との連携や施策相互の関連性を考慮に入れながら、個別施策間に食い違いが生じないように図っていきます。

また、必要に応じて、個別施策に対応した事業計画を策定して、施策相互の調整を図っていきます。



(2) 効果の見える施策推進

✚ 下水道の事業全体は、20 の施策にもあるように広範囲にわたり、その事業遂行には長い年月と膨大な資金を要するとともに、施設の維持管理に至っては半永久的な取り組みが必要となってきます。

このような大規模な事業を円滑に推進していくためには、まず、下水道事業に対する市民のより一層の理解を得ることや、その願望を的確に施策として具体化していくことが、より効果的であると考えます。

✚ 市民の理解を深めるには、下水道に関する情報を積極的に公開して提供する中で市民の信頼と協力を得ていくことが重要です。市民が正確で偏りのない情報を受けることにより、下水道事業のイメージアップが図られ、市民と行政の協働の基盤を築いて行く根底となります。

✚ 個別施策の展開にあたっては、各施策の優先順位を考慮しながら効率的に実施していくとともに、下水道自体が地域的にも市民生活に密着した分野であることから、地域レベルでの施策の重点的実行により、当該地域住民が下水道事業の成果を実感できる工夫を図っていきます。

(3) 費用対効果の検証

✚ 汚水管渠の建設費や維持費、河川や水路の整備費、汚水浄化のための処理費、浸水対策費、接続勧奨のための補助金等々、下水道事業の遂行には多大な経費が掛かります。

また、一方、受益者負担金や下水道使用料、国県からの補助金等は貴重な財源となっています。

✚ 限りある財源によって個別施策を展開していくには、それぞれの状況及び場面に応じて経費節減の工夫をしていくことはもちろんですが、施策展開が実施されるに至った出発点と最終的な形態を見据えて、市民生活にどのような成果をもたらしたかの費用対効果の検証を図っていきます。

✚ 下水道事業は、環境問題の解決を目指した循環型社会の構築のための中心的な役割を果たすための国家レベルの事業です。財源の確保や国庫補助金及び交付金制度の運用については、国県等の関係機関との連携を図っていきます。

さらに、民間活力の導入によるコスト縮減についても積極的に対応していきます。

(4) 柔軟性のある推進体制

公共下水道の污水管渠の整備もほぼ完了になり、下水道事業の中心は本管の新規建設から既存管渠の維持管理に移ってきています。

また、施設の建設から長年月を経た七里ガ浜下水道終末処理場では、大規模な施設の更新工事が必要となってきました。

鎌倉地域の污水管渠は、老朽化と建設当時の技術的制約による構造的な不具合を、抜本的な再構築によって改善を図る時期にきています。

さらには、近年の気象の変化により発生する豪雨に対処するため、浸水対策の根本的な再検討も必要となってきました。

年月の経過や環境の変化とともに変容していく下水道事業の主要な課題に対し、人的にも組織的にも的確に対応できるよう、柔軟性のある事業の推進体制の確保を図っていきます。

(5) 的確な情報による意思決定

✚ 下水道事業は、土木、建築、機械、電気、化学等の技術分野から、法令、規則等の制度分野、また本市が蓄積してきた経験や他都市での事例、国レベルでの調査研究に至るまで、その視野に置く対象は非常に幅が広いものとなっています。

✚ 下水道事業に携わる市職員は、多量の情報を的確に選びとり、個別施策の推進に役立てていくためには、研修や職員相互の人材育成を前提に、それぞれの専門分野とともに他の関連分野にわたる広い視野と洞察力を持ちつづけていく必要があります。

✚ 今後の下水道事業は、的確な情報収集から得られた明るい状況判断に基づき、より客観的かつ主体的な意思決定を図り事業を推進していきます。